



世界に希望を生み出そう

Vol. 62

No. 31

第 2 9 0 2 例会  
2024年5月14日号

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2580地区

# 東京江東ロータリークラブ

2023~2024年度 テーマ

## 世界に希望を生み出そう

ロータリアンの心に火をつけよう Get the Joy of Rotary  
RI 会長 ゴードン R. マッキナリー 地区ガバナー 栃木 一夫

## 伝統と革新

~革新しながら伝統を守ろう~  
クラブ会長 河西 史郎

### 今日の卓話

参議院議員 **朝日健太郎氏**  
スポーツの産業化に向けた四方山話

### 次回例会案内

地区青少年交換委員 (臨海西 RC)

**島崎久志氏**

株式会社 藤江 **井田紗也子氏**

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

### 例会報告

5/7 会員数 22 名中 15 名  
出席率 71.42%  
4/9 【訂正出席率】  
訂正出席率 71.42%



### 会長・幹事報告



- 7日(火) 理事会・被選理事会・例会【卓話】近藤倫子氏
- 8日(水) 東京丸の内 RC に、小野社会福祉フェスティバル実行委員長、鈴木会員がキャラバン隊でメイキャップに行かれました。
- 10日(金) 東京東 RC に、大澤会長エレクトが、キャラバン隊で、メイキャップに行かれます。
- 10日(金) 東京リバーサイドロータリークラブに、(上野精養軒) 小嶋会員が卓話に行かれます。
- 同じく 10日(金) 地区研修協議会【バーチャル開催】  
15:00~16:00【会長幹事部門】大澤栄一会長エレクト / 堀次年度幹事  
16:30~17:30【クラブ運営支援部門】末次会員・熊川会員  
18:00~19:00【職業奉仕部門】小野会員・藤崎会員
- 14日(火) 例会 東京ベイロータリークラブ 合同例会(昼例会)  
【卓話】参議院議員朝日健太郎氏【演題】「スポーツの産業化に向けた四方山(よもやま)話」

### <委員会報告・その他>

【回覧】江東おでかけ情報局のご案内、東京東江戸川 RC55 周年記念誌  
 【配布物】週報 NO.30、ロータリーの友 5月号  
 【委員会報告その他】●伊藤海米山カウンセラー：米山奨学生カンウヒョン君に奨学金の進呈を行いました。●大澤会長エレクト：次年度青少年交換の帰国前報告会への参加のお願い。  
**次の例会は、5月28日(火)となっております。欠席される方は、事務局までお知らせください。**

2024年5月のロータリーレポート【1ドル157円】

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

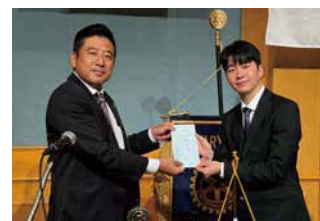
●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日 12時30分~13時30分  
 ●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5632)3777 FAX : 03(5632)3737

### ニコニコボックス



河西会長：近藤さん、本日の卓話楽しみにしております。  
 伊藤(海)幹事：近藤さん、卓話楽しみにしております。  
 菅澤君：今日もお世話になります。  
 伊藤(三)君：早いものでもう5月です。皆で楽しい例会にしましょう！  
 鈴木君：スピーチ楽しみにしています。  
 小嶋君：近藤倫子様、本日の卓話楽しみにしております。  
 大澤君：6月16日(日)に青少年交換留学生の帰国前報告会があります。必ず参加してください。  
 小野君：本日もよろしくお願ひ致します。  
 田澤君：近藤様、本日の卓話をよろしくお願ひ致します。  
 大木君：近藤さん本日卓話よろしくお願ひします。  
 堀君：本日もよろしくお願ひします。  
 野村君：卓話楽しみにしております。

合計 61,000円  
累計 1,840,500円





世界に希望を生み出そう



# 家庭の中で、子育てを通して育む愛国心 「内なる国防は家庭に在り」

江東区児童家庭支援士／公財日本国防協会広報普及委員

## 近藤倫子氏



国防を考える際に通常は軍事的なもの（敵基地攻撃や迎撃ミサイルなど）や各国との交渉・安全保障といった外交等の国の外側に向けて行われるものを連想するでしょう。現在の世界情勢を鑑みると、果たして今後も外側に向けた国防だけで日本を守ることはできるのでしょうか。

令和5年6月に可決された LGBT 理解増進法案、筆者はこれを、日本を内側から破壊する価値観の侵略であると捉えています。この侵略は他にも男女共同参画や、行き過ぎた男女平等や SDGs も同じです。その理由は「日本古来の価値観や感性にそぐわない、またはもう既に日本においては行われてきたもの」だからです。

このような日本人への内部に向けての侵略的な行為に対する防衛手段を、内側に向けた国防であると筆者は定義して、これを「内なる国防」と名付けました。日本人一人一人の心に防波堤を作り、様々な価値観の侵略から日本を守る、これは三島由紀夫が『文化防衛論』（1966）の中で言った「魂の防波堤」と同じ考え方です。これからは国民一人一人が内なる国防意識を持って生きていかねばならない時代となるでしょう。何故ならば、価値観の侵略に対して政治家は国民を守る術を持っていないからです。

この「内なる国防」は愛国心と言い換える事ができます。日本を守るには日本を愛している必要があるからです。しかし、愛国心と聞きますと戦前の軍国主義を想起するとしてアレルギー反応を起こす方が一定数いるのが現代ニッポンです。また国防という言葉に対しても身構えてしまう方がいます。それはなぜでしょうか。考えられる要因としてはマスコミや SNS 等の情報、学校での偏向した歴史教育が挙げられます。日本への自信が持てないようになっているのです。そういった反応をする方には、「オリンピックやスポーツの国際大会では、意識していなくても日本チームや日本人選手を自然と応援しますよね。

それも愛国心なのですよ。」とお話ししますと、納得する方がいらっしゃると思います。愛する気持ちに理屈は必要ないのです、知識は後から身に付けばいいのです。次世代を担う子供達には、家庭の中で、子育てを通して愛国心を育むことが良いと筆者は考えています。子供が学校でおかしな知識を身につけて帰宅しても、家庭内の親子の会話で自浄することが出来るのです。この自浄作用は人体の免疫力と言い換えてもいいでしょう。しかしこの親子関係は急に構築できるものではなく、乳幼児期のうちに構築しておく必要があります。学童期や思春期、反抗期を迎えた子供との関係性が良くない場合は、この自浄作用が働かないのです。

筆者は江東区で、様々な事情や課題を抱えた子供への支援活動をしています。親との間に信頼関係が構築されていない子供達は大人への信頼感が薄く、常に心に寂しさや不安を抱えています。昨今話題になっている青少年男子による幼女への性加害や若年女性の売春行為、「ホス活」「パブ活」もその根底にあるのは、漠然とした寂しさや不安を抱えていた成育史があると筆者は推測しています。

次世代を担う子供達がそのような状況に陥っている現状を改善するには、青年や子供への対処療法的な支援の他に、不安や寂しさを感じさせない家庭環境を作る事が重要です。家庭の中で、子育てを通して愛国心を育むには、親への信頼感が重要です。この信頼感が日本という国への信頼感となり、愛国心を取り戻すきっかけとなるでしょう。その為にも子供が乳幼児のうちに土台を作っておかないとならないのです。

発達心理学の中にアタッチメント理論というものがあります。イギリスの精神分析家で児童精神科医である J・ボウルヴィが唱えた理論です。アタッチメントとは簡単にいうと「乳幼児が不安や恐れを感じた時に特定の者に近接し接触し心の不安や恐れを低減させる心の仕組み」であり、日本では愛着行動と訳されます。この愛着行動を通して乳幼児は心を強くしなやかに発達させ、親への信頼感を強めていきます。

この愛着行動には、父親ではなく母親の存在が欠かせません。何故なら私達は一人の例外もなく母親から誕生します。母親とは特別な存在、代わりの効かない存在なのです。この母親との信頼関係において効力を発揮する自浄作用（免疫力）が、「内なる国防は家庭に在り」なのです。

神武天皇の建国の詔には「(前略)一つの家族のように仲良く暮らしていける国にしようではないか」との一文があります<sup>\*1</sup>。家族皆が仲良く、温かな信頼関係が構築されている家庭と国との関係性は、筆者が勝手に言い出した事ではなく、神武天皇が仰っている事なのです。私達はこの建国の精神に立ち返り、日本を再興していかなければなりません。『子供達に伝えたい 日本の建国』、新田均、明成社、2004、P37より引用